

第1回

市川三郷町・富士川町

新病院設置協議会

医療機能部会

日時 平成24年 3月 7日 (水)

午後7時～

場所 富士川町役場 1階 会議室

平成 24 年 2 月 14 日

峡南北部地域における病院の再編について（山梨大学佐藤素案）

1. 基本的考え

峡南北部地域に存在する 3 病院（市川三郷病院、鰍沢病院、峡南病院）のもつ医療資源を集約し、経営を統合することで運営・経営基盤を強化し、峡南北部の地域性を考慮した病院を配置し、「地域住民が最も希望する地域完結型の高度医療を展開する」。地域性および現時点での病院構造等を考慮すると、市川三郷病院と鰍沢病院を基本病院として存続し、それぞれの病院機能（特色）を明確にして活用する。峡南病院は、廃止する。

2. 存続形態

市川三郷町立病院と鰍沢病院は、市川三郷町と富士川町で一部事務組合を組織し購入する。迅速な病院運営のために人事権・予算権の自由度がある、地方公営企業法の全部適用とする。病院管理者はいずれの町長もなることはできないが、経営状況については両町議会の承認が必要となるため、チェック機能は働くと考えられる。ただし、経営統合後 3 年を経過した時点で、その運営・経営状況を検討し、経営形態の再検討を行うものとする。3 病院の職員は、原則として全員地方公務員として雇用継続または新規に雇用することとなるが、運営形態にあわせて雇用形態を検討するものとする。

3. 新たな病院の機能分化

経営統合による名称を、仮に「峡南北部医療センター」とし、市川三郷町立病院、社会保険鰍沢病院をそれぞれ市川三郷病院、富士川病院と呼ぶ。

★ 1 現在の病院概要

1) 市川三郷病院

常勤医師数 8 名（内科 3 名、外科 3 名、泌尿器科 2 名）

入院病床 一般 100 床（稼働率 51.5%）

外来科目 常勤担当 3、非常勤担当 7

特殊診療 血液透析 23 台（63 人）、市川三郷町国保診療所

2) 鰍沢病院

常勤医師数 9 名（整形外科 3 名、外科 3 名、小児科 3 名）

入院病床 一般 154 床（稼働率 38.3%）、感染 4 床

外来科目 常勤担当 4、非常勤担当 3

特殊診療 検診

3) 峡南病院

常勤医師数 3名（外科1名、内科2名）
入院病床 一般 40床（稼働率70.1%）
外来科目 常勤担当5
特殊診療 血液透析10台（34人）、在宅診療48名

★2 想定される病院機能及び医療収入

市川三郷病院と富士川病院間では、医師が移動することにより、外来の診療科目数の拡充および診療日数の増を図るものとする。一部の診療科を除けば、基本的に2病院の外来科目は同じとなる。病院職員（医師、看護師、技師等）は、両病院間での配置を固定するものではなく、診療状況等に応じて相互に異動することがあるものとする。

市川三郷病院は一般病床40・療養（回復期）病床20床の入院施設とし、当面多くの医師を富士川病院に集約し、輪番制で市川三郷病院に派遣する形態をとることで、医師のモチベーションを確保する。また、病院であるかぎり、必要最低数の医師の配置が必要となり、常勤病院として希望に沿わない場合もありうる（定期的な病院間での医師の配置変換は行うものとする）。

1) 市川三郷病院

基本的に時間外診療は行わない。

外来診療の拡充を行い、入院は60床程度まで減少し一般病床40・療養（回復期）病床20とする。

手術は行わない。

透析は継続あるいは拡充（23台+10台）。

「在宅診療センター」を新設し、在宅医療を推進するセンターとする。

*収入見込み：(概算)

入院 一般 90%、30,000円/日として 394,200,000円

療養 90%、17,000円/日として 111,690,000円

外来 患者数 282.3人×1.5倍×240日×10,000円として 1,016,280,000円
(在宅診療は含まず)

透析 患者数 97名×52週×3回×20,000円として 302,640,000円

計 1,824,810,000円

2) 富士川病院

峡南北部の一次・二次救急施設とする。

手術機能を充実させ、154床すべてを一般病床とする。

7対1看護体制を目標とする。

検診は継続。

※収入見込み：(概算)

入院 一般 85%、37,000 円/日として $154 \text{ 床} \times 365 \times 0.85 \times 37,000 \text{ 円}$ として
1,767,804,500 円

外来 患者数 277.4 名 $\times 2 \text{ 倍} \times 240 \text{ 日} \times 10,000 \text{ 円}$ として 1,331,520,000 円

健診 214,461,000 円

計 3,313,785,500 円

総計 5,138,595,500 円

：あくまでも概算であり、この程度の医業収入がないと病院が運営できないものと考えられる。

★ 3 診療経費の抑制

医薬品、医療用器材の共同購入

ジェネリック医薬品の積極的採用 (40%を目標)

MR、CTの活用 (健診等)

臨床検査部門、放射線部門の集約化 (検体検査の外注化推進、市川三郷病院は、緊急検査が主体)

非常勤職員、嘱託職員の削減 など

市川三郷町立病院

現状	内科	外科	泌尿器科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	婦人科	脳外科	透析(23台)				放射線科	手術	
	毎	毎	毎	毎	週3	週3	週3	週2	週1	毎				週3		
常勤医師	3	3	2													8



(仮称)市川三郷病院

開設外来案	◎内科	◎外科	◎泌尿器科	◎整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	婦人科	脳外科	透析(33台)	小児科	消化器科	リハビリ科	放射線科	◎在宅診療
常勤医師															

◎内科・外科・泌尿器科・整形外科は毎日

入院

1
0
0
一般
床



4
0
床
療
養
2
0
床

鵜沢病院

現状	内科	外科		整形外科					脳外科		小児科	消化器科	リハビリ科	放射線科	手術	健診
	毎	毎		毎					週1		毎	毎	毎	週3		
常勤医師		3		3							3					9



(仮称)富士川病院

外来開設案	◎内科	◎外科	◎泌尿器科	◎整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	婦人科	脳外科	◎小児科	消化器科	◎リハビリ科	放射線科	手術	◎健診
常勤医師															

◎内科・外科・泌尿器・整形外科・小児科・リハビリは毎日

★両病院の常勤医数と開設外来数は今後の検討課題

感
染
4
4
床
1
5
一般
床



感
染
4
4
床
1
5
一般
床

峡南病院

現状	循環器内科	神経内科	外科	整形外科						透析(10台)				手術	在宅診療
	週4	毎	毎	週1						週5					
常勤医師	1	1	1												3

4
0
床
一般